

③ 三重県観光の持続的な発展のあり方検討会議

(1) 取組目標

三重県観光の持続的な発展のあり方に関して、本県の観光の現状および県・市町の取組について情報を共有した上で、県と市町が協力して解決すべき課題（下記のとおり整理）について連携・協働手法を検討します。

なお、県では、「三重県観光振興条例（仮称）」の制定および条例に基づく基本計画の策定に向けた検討を進めており、この進捗をふまえるものとします。

- ①（検討課題）観光に取り組む人材の育成について
- ②（研究課題）市町間・地域間における観光の広域連携について

(2) 検討メンバー

市 町		県
津市／観光振興課	鳥羽市／観光課	観光・交流室
四日市市／商業観光課	熊野市／観光スポーツ課	
伊勢市／観光企画課	いなべ市／農業振興課	
松阪市／観光交流課	志摩市／観光戦略室	
桑名市／観光課	伊賀市／商工労働観光課	
鈴鹿市／商業観光課	菰野町／観光産業課	
名張市／商工観光室	明和町／産業課	
尾鷲市／新産業創造課	南伊勢町／産業振興課	
亀山市／観光振興室	紀宝町／企画調整課	

助言者 ●鈴鹿国際大学国際人間科学部観光学科長／捧富雄教授
三重の観光プロデューサー／西川哲司氏

(3) 現状および課題

長引く経済不況による観光需要の減少、高速道路網の整備や料金体系の変更、中国における個人向け観光ビザの発給要件の緩和、インターネットの普及等、観光をとりまく環境が大きく変化するとともに、観光誘客の地域間競争が激しさを増しています。

このような変化の中、式年遷宮の情報発信力・集客力の効果を県内全域に波及させながら、地域資源を最大限に活用した魅力の増進と、地域に密着した観光産業の構築に取り組み、遷宮後も持続する強靱な観光構造を構築することが求められています。

(4) 開催実績

- 第1回 2010年6月29日 ①三重県観光の現状等についての情報共有
②市町における観光振興の現状・課題についての意見交換
③検討課題の整理
- 第2回 8月31日 ①検討課題の整理（課題の絞り込み）
②「観光に取り組む人材の育成について」の検討、

第3回	10月8日	人材育成の取組に関するアンケート結果の情報共有 「観光に取り組む人材の育成について」の検討、 県および市町における人材育成の取組について意見交換
第4回	12月17日	「観光に取り組む人材の育成について」の検討、 最終報告に向けた検討結果の整理 「市町間・地域間における観光の広域連携について」の研究 （事例発表）西美濃・北伊勢観光サミット、 北伊勢広域観光協議会、 東大和西三重観光連盟、 伊勢・鳥羽・志摩観光連絡協議会
第5回	2011年1月14日	「観光に取り組む人材の育成について」および「市町間・ 地域間における観光の広域連携について」の検討・研究結 果のとりまとめ

(5) 検討状況

検討会議参加メンバー（市町）に、1）観光振興計画の策定状況、2）観光振興の取組について、アンケート調査を行い、課題の抽出を行った上で、課題の解決に向けた意見交換を行いました。

意見交換の結果、「観光資源を活用した商品づくり」や「地域製品のブランド化」といった市町が抱える課題に関して、地域の観光資源は豊富であっても、それらを生かして観光の取組を進める人材が不足しており、このことが観光振興のさまざまな取組を行う上での共通課題となっていることを確認しました。

地域の観光振興を担う人材のイメージやその役割については、「リーダー」、「企画・調整者」、「オペレーター」（観光庁ガイドライン案による）等、多様であることをふまえ、まず地域において、どのような人材が必要となっているのかを整理するため、各市町における「人材育成」の取組状況を調査しました。

調査結果から、市町においては、観光案内所のスタッフ、観光ガイド等の現場の対応を行う人材の育成や、市町民のおもてなし意識の向上に関しては、研修などの取組がなされているものの、職員の専門性の向上や観光まちづくりに取り組む民間のリーダーの養成等については、ノウハウが乏しく取組があまり進んでいないことがわかりました。

このため、観光振興における人材育成の重要性を認識した上で、県および市町において、観光の人材育成に係る連絡・調整の場を設け、多様な人材の育成に向けた取組の効果的な運用をはかることとします。

なお、この検討会議では、市町間・地域間における観光の広域連携のあり方について研究したいとの要望があったことから、事例発表を交えて意見交

換を行い、人材育成の点でも広域連携が重要であることを確認しました。

(6) 取組成果

市町との協議およびアンケートの実施により、観光振興に取り組む上で「人材の育成」が重要な課題であること、また地域の観光振興を担う人材にはさまざまな役割や機能が求められることを認識するとともに、人材育成の効果的な取組を県と市町が協力して取り組むことの合意形成がはかられました。

また、広域連携による観光の事例発表を通じて、その目的と効果、具体的な連携手法について、認識を深めることができました。

(7) 今後の方針

2011 年度（平成 23 年度）当初に、人材育成の窓口となる実務担当者の連絡・調整の場を設け、年度内の研修計画等を共有し、互いの研修への参加や研修内容の調整等を進めます。

(8) 取組に対する自己評価

目標に対する取組成果がおおむね発揮されました。

（判断理由等）

三重県観光の現状や県および市町の取組に関して情報が共有されるとともに、県と市町が協力して取り組むべき課題として「人材育成」が重要であることの認識がはかられました。

また、観光の人材育成に向けて、実務担当者の連絡・調整の場を設け、効果的な運用をはかることで合意形成が得られたため、2011 年度（平成 23 年度）より具体的な連携の取組をはじめることとなりました。